

ATH-SQ1TW2NC

取扱注意ガイド / ワイヤレスイヤホン

Caution Guide / Wireless Headphones

注意事項指南 / 无线耳机

注意事項 / 無線耳機

주의사항 안내 / 무선 이어폰

audio-technica

日本語

■ 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮を込めて設計していますが、使用かたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

■ イヤホンについて

警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
<ul style="list-style-type: none">●本製品を医療機器の近くで使用しない 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。 ●航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。 ●自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。 ●分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。 ●強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。 ●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに修理を依頼してください。 ●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。 ●水などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。 ●自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない 交通事故の原因となります。 ●周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など)では使用しない 事故の原因となります。 ●外部の音が聞こえない音量で使用しない 本製品は密閉度が高く、外部の音が聞こえにくくなります。周囲の音が聞こえる音で、安全を確かめながら使用してください。 ●幼児の近くで場所を置かない 誤飲など、事故の原因になる場合があります。	

注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。
<ul style="list-style-type: none">●大音量で耳を刺激しない 耳をあまり刺激しない適度な音でご利用ください。大音量で長時間聴くと聴くに悪影響を与えることがあります。 ●肌を痒感を感じた場合は、使用しない すぐに使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。 ●使用中に気分が悪くなったら、使用を中止する 本製品を耳から外してください。 ●使用后、本製品にイヤピースが付いているか確認する イヤピースが耳の中へ残り、取り出せない場合は、すぐに医師の診察を受けてください。 ●蒸れによりかゆみなどを感じた場合は、使用を中止する 汗がや事故の原因になります。	

■ 充電ケースについて

警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
<ul style="list-style-type: none">●分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。 ●強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。 ●強い手で触れない 感電やけがの原因になります。 ●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに修理を依頼してください。 ●水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。 ●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。 ●水などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。 ●本製品のバッテリーチャarging付属の充電用USBケーブルに水分や異物がついた状態で充電しない 感電・発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。 ●付属の充電用USBケーブルの端子が曲がっていたり、差し込みが緩くなっている状態で充電しない 発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。 ●付属の充電用USBケーブル以外で充電しない 故障や火災の原因になります。 ●USB電源アダプターやモバイルバッテリーを使用して充電する際、出力電流0.5A(500mA)以上の機器を使用する ただし、急速充電機能(5Vより大きな電圧を出力する)を有する機器で充電しない 充電ができない、故障の原因になります。	

注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。
<ul style="list-style-type: none">●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 故障、不具合の原因になります。 ●火気に近づけない 変形、故障の原因になります。 ●アルコール、ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない 変色や変形、故障の原因になります。	

■ 充電式電池について


イヤホン:充電ケースは、充電式電池(リチウムイオン電池)を内蔵しています。

危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
<ul style="list-style-type: none">●電池の液が漏れに入ったときは目をこすらない すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。 ●電池の液が濡れたときは素手で液を触らない 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。 万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。 ●火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●落下させたり強い衝撃を与えない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●水に濡らさない 発熱、破裂、発火の原因になります。 ●以下の場所で使用、放置、保管しない <ul style="list-style-type: none">■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所 ■炎天下の車内 ■ストーブなどの熱源の近く 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。	

■ 内蔵充電式電池について

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。その際は当社サービスセンターへご連絡ください。
サービスセンター ☎ 0120-887-416
携帯電話などのご利用は 03-6746-0212

■ 本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い


内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただく場合は本製品を次の方法で廃棄してください。本製品の充電部とBluetooth端末の間には人体やそのほかの廃棄物がなく、メイズや音の途切れを最小限に抑えることができます。

送り先: 〒915-0003 福井県越前市市戸宮 87-1
株式会社オオーディオテクニカフイ
二次電池回収担当 宛
TEL:0778-25-6736(電池回収専用)

■ 使用上の注意

- ご利用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず接続機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じる場合があります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- 充電用USBケーブルを接続した状態で、充電ケースをそのままバッグやポケットなどに入ると充電用USBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用しないときは、必ず充電ケースから充電用USBケーブルを取り外してください。
- イヤホンを充電する際は、充電ケースのカバーを閉じて充電してください。
- 本製品を使用しないときは、付属の充電ケースに収納してください。
- 付属/当社指定(別売)のイヤピース以外を使用した場合、充電ケースにイヤホンが入らなくなったり、正しく充電ができない場合があります。必ず付属/当社指定(別売)のイヤピースを使用してください。
- 本製品を使用する際は、付属のイヤピースから耳にフィットする最適なものを選び、しっかりと装着してください。
- 本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限らず有効です。それ以外(アプリなど利用して1対1通話を介している電話)は、動作保証できません。

- 本製品の近くに電子機器や発信機(携帯電話など)があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- ラジオのアンテナ付近で使用すると、ラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所(10〜35℃)で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
- イヤホンが濡れている場合は、乾いた布で水分を完全に拭き取ってから充電ケースに入れてください。充電ケースは防水/防滴仕様ではありません。イヤホンに水分がついた状態で充電を行わないでください。
- 本製品のトークスルー/ヒアスルー機能は、内蔵されているマイクにより、本製品を装着したままで周囲の音が確認できるモードです。再生している音楽などの音量によっては、周囲の音が聞こえづらいつ場合があります。その場合は、音楽などの音量を小さくしてください。
- 本製品のトークスルー/ヒアスルー機能を使用しても、周囲の状況などによって、周囲の音が聞き取りにくい場合があります。交通量の多い場所など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では、本製品を使用しないでください。
- タッチセンサー一部の操作は1本の指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもの操作すると、正しく動作しないだけでなく、タッチセンサー部が傷ついたり、破損の原因となる恐れがあります。
- 爪先でタッチセンサー部をタッチしないでください。爪が割れるなどけがの原因となる恐れがあります。
- タッチしたときに動作しなかったり、意図しない動作をする場合は、タッチしたときに他の指や手の一部、服の部分が触れているいなかをご確認ください。なお、手袋をしていたり、指先が乾燥している、正しく動作しないことがあります。
- 汗などでタッチセンサー部が汚れていると、正しく動作しないことがあります。汚れを取り除いてから操作してください。

■ アクティブノイズキャンセリング機能について

本製品に内蔵されたマイクとヘッドホン周囲の環境騒音(乗り物の騒音やエアコンなどの空調音など)を收音し、その逆位相音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。その結果、環境騒音が低減していきます。

- 本製品のノイズキャンセリング機能は、主に低い周波数帯域の騒音に対して効果的ですが、すべての騒音が消えるわけではありません。
- 静かな場所や騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- ノイズキャンセリング機能を使用しているとき、「Party」という音が出る場合があります。これはノイズキャンセリング機能の特性によって発生する音であり、故障ではありません。
- 本製品の装着のしかたによっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音(ハウリング)が出ることがあります。このような場合は、本製品を装着し直してください。
- ノイズキャンセリング効果を最大限に発揮するために、付属のイヤピースから左右それぞれ周囲の音が最も聞こえないような適音性の高いイヤピースを選択し、しっかりと装着してください。
- 列車、バスやトラックなどといった自動車も本製品をご使用の場合、レールや路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。

■ 本製品の接続がうまくいかない場合は

ペアリングが解除できない、接続できない場合、強制的にペアリングモードにすることで再度ペアリングを行うことができます。

1. L / R(左/右)両方のイヤホンを充電ケース(電池残量がある状態)に取り付けたあと約5秒後に、両方のイヤホンのタッチセンサー部をロングタッチ(約4秒)します。
2. 両方のイヤホンのインジケーターがオレンジ色点灯したら、指を離してイヤホンを充電ケースから取り出します。
 - 本製品が「機器検索中」状態(ペアリングモード)に切り替わり、接続したBluetooth機器からのペアリングを行うことができますようになります。
 - 手順通りにできなかった場合は、イヤホンを再度充電ケースから取り出しても、もう一度同じ操作を行ってください。

■ 本製品の動作がおかしい場合は

1. L / R(左/右)両方のイヤホンを充電ケース(電池残量がある状態)に取り付けたあと約5秒後に、両方のイヤホンのタッチセンサー部をロングタッチ(約10秒)します。
 - ロングタッチしている間、約4秒後に一度オレンジ色点灯しますが、そのままロングタッチし続けてください。
2. 両方のイヤホンのインジケーターがオレンジ色点滅し始めたら、指を離してイヤホンを充電ケースから取り出します。
 - リセットが完了します。
3. Bluetooth端末側から本製品の登録を削除し、再度ペアリングを行います。
 - 手順通りにできなかった場合は、イヤホンを再度充電ケースから取り出しても、もう一度同じ操作を行ってください。

■ 防水性能について

- 本製品の防水仕様は、運動時の汗や簡単な水洗いによる内部への液体の侵入を防止する目的で設計されています。(IPX5相当)。JIS保護等級IPX5とは、噴流に対して保護されていることを意味します。お風呂などの高温多湿の場所では使用できません。
- 完全防水ではありません。故意に水中に沈めたり、水中で使用しないでください。また汗や水以外の液体(石けん水など)にさらさないでください。
- 本製品の防水性能はイヤホン本体のみの仕様です。充電ケースは防水仕様ではありません。
- イヤホン本体はIPX5相当の防水処理を行っていますが、音が出る部分は防水仕様ではありません。
- イヤホンが濡れている場合は、充分な性能が発揮されない恐れがあります。イヤホンに乾いた布を当てて、複数回繰り返して水分を取り除いたあと、充分に乾かしてからご利用ください。詳しくは当社ホームページ掲載の取扱説明書をご確認ください。

■ 適合機種について

Bluetooth対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページまたはお客様相談窓口でご案内しています。


https://www.audio-technica.co.jp/support/

- 右のQRコードからアクセスできます。

本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国のみ使用できます。

■ Bluetooth® 製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の電源を切り捨ててください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH1	この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉干渉距離は10mです。
---------------	---

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。本製品を総務省の許可なしに改造して使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

■ ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、次の点に注意してください。

- 本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器を離して設置する。
一病院内では使用しない。

■ 使用上の注意

本製品と接続する機器はBluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。Bluetooth標準規格に適合していない、特許や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

■ 通信距離について

障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、本製品をBluetooth搭載機器の近くで使用してください。

■ **Bluetooth通信をより快適にお楽しみいただくために**

本製品の有効な通信範囲は障害物や電波状態によって変動します。本製品を快適にお楽しみいただくために本製品とBluetooth端末をなるべく近づけて使用してください。本製品の充電部とBluetooth端末の間には人体やそのほかの廃棄物がなく、メイズや音の途切れを最小限に抑えることができます。

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続、注意書きに従った使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

<p>お問い合わせ先 (電話受付/平日9:00~17:30) 製品仕様、使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびサポートホームページのサポートまでお問い合わせします。</p> <p>●お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417 (携帯電話などのご利用は 03-6746-0211) FAX:042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp</p> <p>●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416 (携帯電話などのご利用は 03-6746-0212) FAX:042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp</p> <p>●ホームページ(サポート) https://www.audio-technica.co.jp/support/</p>
--

English

Thank you for purchasing this Audio-Technica product. Before using the product, read through this caution guide to ensure that you will use the product correctly. Please keep this manual for future reference.

■ Safety precautions

Although this product was designed to be used safely, failing to use it correctly may result in an accident. To ensure safety, observe all warnings and cautions while using the product.

Cautions for the headphones

- Do not use the product near medical equipment. Radio waves may affect cardiac pacemakers and medical electronic equipment. Do not use the product inside medical facilities.
- When using the product in aircraft, follow airline instructions.
- Do not use the product near automatic control devices such as automatic doors and fire alarms. Radio waves may affect electronic equipment and cause accidents due to malfunction.
- Do not disassemble, modify or attempt to repair the product to avoid electric shock, malfunction or fire.
- Do not subject the product to strong impact to avoid electric shock, malfunction or fire.
- Disconnect the product from a device if the product begins to malfunction, producing smoke, odor, heat, unwanted noise or showing other signs of damage. In such a case, contact your local Audio-Technica dealer.
- Do not put foreign matter such as combustible materials, metal, or liquid in the product.
- Do not cover the product with a cloth to avoid fire or injury by overheating.
- Follow applicable laws regarding mobile phone and headphone use if using headphones while driving.
- Do not use the product in places where the inability to hear ambient sound presents a serious risk (such as at railroad crossings, train stations, and construction sites).
- The product effectively shields external sound, so you may not hear sound around you clearly while wearing the product. Adjust the volume to a level where you can still hear background sound and monitor the area around you while listening to music.
- Store the product out of the reach of small children.
- To prevent damage to your hearing, do not raise the volume too high. Listening to loud sound for an extended period may cause temporary or permanent hearing loss.
- Discontinue use if skin irritation results from direct contact with the product.
- If you begin to feel unwell while using the product, discontinue use immediately.
- When removing the product from your ears, check to make sure the earpits are still attached to the main unit. If the earpits become lodged in your ears and you are unable to remove them, consult a physician at once.
- If you develop an itch from wearing the product, discontinue use.

Cautions for charging case

- Do not disassemble, modify or attempt to repair the product to avoid electric shock, malfunction or fire.
- Do not subject the product to strong impact to avoid electric shock, malfunction or fire.
- Do not handle the product with wet hands to avoid electric shock or injury.
- Disconnect the product from a device if the product begins to malfunction, producing smoke, odor, heat, unwanted noise or showing other signs of damage. In such a case, contact your local Audio-Technica dealer.
- Do not allow the product to get wet to avoid electric shock or malfunction.
- Do not put foreign matter such as combustible materials, metal, or liquid in the product.
- Do not cover the product with a cloth to avoid fire or injury by overheating.
- Do not charge the product if water or foreign matter is inside the battery jack or USB charging cable. Doing so may cause corrosion, heat generation, smoke, fire, or other malfunction or electric shock in the battery jack or USB charging cable.
- Do not charge the battery if the terminal of the USB charging cable is bent, loose, or damaged. Doing so may cause heat generation, smoke emission, fire or electric shock.
- When charging, make sure to use the included USB charging cable.
- When using a commercially sold USB power adapter or power bank for charging, use a device with an output current of 0.5 A (500 mA) or higher. However, do not charge with a device that have quick-charge functionality (with a voltage of 5 V or more). Doing so may cause the product to failure of charging or malfunction.
- When using the product in direct sunlight, near heating devices, or in hot, humid, or dusty places because such storage could cause malfunction or defect.
- Do not put the product close to fire because that could cause deformation or malfunction.
- Do not use alcohol, benzine, paint thinners and electrical contact cleaner, etc. because use of such material could cause discoloration, deformation or malfunction.

Cautions for rechargeable battery

The headphones and charging case are equipped with a rechargeable battery (lithium-ion battery).

- If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse thoroughly with clean water such as tap water and consult a doctor immediately.
- If battery fluid leaks, do not touch fluid with bare hands. If fluid remains inside the product, it may cause malfunction. If battery fluid leaks, contact your local Audio-Technica dealer.
 - If fluid gets in your mouth, gargle thoroughly with clean water such as tap water and consult a doctor immediately.
 - If your skin or clothing comes in contact with fluid, immediately wash the affected skin or clothing with water. If you experience skin irritation, consult a doctor.
- To avoid leakage, generation of heat or explosion:
 - Never heat, disassemble or modify the battery, nor dispose of it in a fire.
 - Do not attempt to pierce with a nail, hit with a hammer or step on the battery.
 - Do not drop the product or subject it to strong impact.
 - Do not get the battery wet.
- Do not use, leave or store the battery in the following places:
 - Area exposed to direct sunlight or high temperatures and humidity
 - Inside of a car under the blazing sun.
 - Near heat sources such as heat registers
- Charge only with the included USB cable to avoid malfunction or fire.
- The internal rechargeable battery of this product cannot be recharged by the user. The battery may have reached the end of its service life if the usage time becomes significantly shorter even after the battery has been fully charged. If this is the case, the battery needs to be repaired. Contact your local Audio-Technica dealer for repair details.
- When the product is disposed of, the built-in rechargeable battery needs to be discarded properly. Contact your local Audio-Technica dealer to learn how to properly dispose of the battery.

■ Notes on use

- Be sure to read the connected device's user manual before use.
- Audio-Technica will not be liable in any way for any loss of data in the unlikely event that such losses should occur while using the product.
- On public transportation or in other public places, keep the volume low so as not to disturb other people.
- Minimize the volume on your device before connecting the product.
- When using the product in a dry environment, you may feel a tingling sensation in your ears. This is caused by static electricity accumulated on your body, not by product malfunction.
- Do not subject the product to strong impact.
- Do not store the product in direct sunlight, near heating devices, or in hot, humid, or dusty places.
- When the product is used for a long time, the product may become discolored due to ultraviolet light (especially direct sunlight) and wear.
- If the charging case is placed in a bag while the USB charging cable is still connected, the USB charging cable may become caught, severed, or broken.
- Make sure to hold the plug when connecting and disconnecting the USB charging cable. The USB charging cable may become severed or an accident may occur if you pull on the cable itself.
- When you are not using the USB charging cable, disconnect it from the charging case.
- When charging the headphones, close the cover of the charging case before charging.
- When you are not using the product, store it in the included charging case.
- If you use time passes between charges, the life of the rechargeable battery may be reduced, or the rechargeable battery may no longer be able to be charged.
- Charge the product in a well-ventilated place (10 to 35°C, 50 to 95°F) away from direct sunlight. Otherwise, the battery may deteriorate, possibly resulting in shorter periods of continuous use or may fail to charge.
- If the headphones are wet, wipe them with a dry cloth before placing them in the charging case. The charging case is not water-resistant (drip-proof). Do not charge the product if the headphones are wet.
- The talk-through mode or hear-through mode of the product allows you to hear the sounds around you through the built-in microphone. Depending on the volume of the music being played back, the surrounding sounds may be difficult to hear. In this case, turn down the volume of the music.
- Depending on your surroundings, the ambient sounds may be difficult to hear even when using the product's talk-through mode or hear-through mode. Do not use the product in places that are dangerous if you cannot hear the surrounding sounds, such as places with heavy traffic.
- Operate the touch sensor with one finger. Operating with a sharp-tipped object, such as a ballpoint pen or pencil, may result not only in incorrect operation, but also damage to the touch sensor.
- Do not touch the touch sensor with your fingertips. Doing so may cause your fingertail to break.
- If the product does not operate at all or as intended when touched, check to make sure that your other fingers, parts of your hand, or clothing items are not in contact when touching. Also, the product may not operate correctly if you are wearing gloves or if your fingertips are too dry.
- The product may not operate correctly if the touch sensor is dirty from sweat. Remove the dirt before operating the product.

■ About the active noise-cancelling function

The product is designed to use its built-in microphone to pick up noise from the surrounding environment (noise from vehicles, noise from air conditioners, etc.) and to cancel out that noise by producing sounds in negative phase. This results in a reduction in the sounds in your environment.

- The product's noise-cancelling function is mainly effective against noises in the lower frequency range, but not all noises are cancelled.
- Depending on the type of noise (or in quiet locations), you may not notice the noise-cancelling effect.
- A slight humming sound may be heard when using the noise-cancelling function. This is a sound generated by the noise-cancelling function; it is not a malfunction.
- The noise-cancelling effect may vary or a bleep (howling) may occur depending on how you wear the product. In these cases, take off the product and put the product in your ears again correctly.
- To maximize the noise-cancelling effect, select the earpits that offer the best sound insulation for each side to block surrounding sound, and insert the headphones into the ears correctly.
- When you use the product in a train or a vehicle such as bus or truck, noise may be heard depending on rail/street conditions.

■ If the product does not connect to a device

If pairing cannot be cancelled or is not successful, you can use forced pairing mode to perform pairing again.

1. About 5 seconds after both headphones (L (left) and R (right) sides) are placed in the charging case (with battery remaining), touch and hold (about 4 seconds) the touch sensors of both headphones.
2. When the indicator lamps on both headphones light in orange, release your fingers and remove the headphones from the charging case.
 - The product will switch to the "searching for devices" (pairing mode) state and you will be able to pair with your desired Bluetooth device.
 - If the procedure cannot be completed as expected, remove the headphones from the charging case again and repeat the procedure from the beginning.

■ If the product operates abnormally

Reset the product.

1. About 5 seconds after both headphones (L (left) and R (right) sides) are placed in the charging case (with battery remaining), touch and hold (about 10 seconds) the touch sensors of both headphones.
 - While touching and holding the touch sensors, the indicator lamps will light in orange once after about 4 seconds, but keep pressing and holding the touch sensors.
 - Reset is complete.
3. Remove the product from the list of registered devices on your Bluetooth device, and perform pairing again.
- If the procedure cannot be completed as expected, remove the headphones from the charging case again and repeat the procedure from the beginning.

■ Waterproof performance

- The waterproof performance of the product is designed to prevent the ingress of liquids from sweating during operation and simple washing (equivalent to IPX5). JIS/IEC protection grade IPX5 means that the headphones are protected against exposure to water jets. The headphones cannot be used in hot and humid places, such as bathrooms.
- The headphones are not completely waterproof. Do not intentionally submerge or use the headphones in water. Also, do not expose the headphones to liquids other than sweat and water (such as soapy water).
- The waterproof specification of this product applies only to the headphones. The charging case is not waterproof.
- Although the headphones have waterproof capabilities equivalent to IPX5, the part where the sound comes from is not waterproof.
- The headphones may not function properly if they become wet. Wipe the headphones with a dry cloth, shake them multiple times to remove any excess water, and allow the headphones to dry thoroughly before use. For more information, refer to the user manual on the Audio-Technica website.

■ For a more comfortable Bluetooth communication experience

The effective communication range of this product varies depending on obstructions and radio wave conditions. For a more enjoyable experience, please use the product as close as possible to the Bluetooth device. To minimize noise and sound disruptions, avoid placing your body or other obstacles between the product's antenna and the Bluetooth device.

简体中文

感谢您购买本“铁三角”产品。在使用产品之前，请全文浏览这本注意事项指南以确保您将正确地使用本产品。请妥善保管本手册以供将来参考。

■ **安全预防措施**
虽然本产品采用安全设计，但使用不当仍可能发生事故。为了确保安全，使用本产品时请注意全部警告和提醒。

耳机注意事项

- 请勿在医疗设施附近使用本产品。无线电波可能会影响心脏起搏器和医疗电子设备。请勿在医疗设施内使用本产品。
- 在飞机上使用本产品时，请遵守航空公司规定。
- 请勿在自动门、火警报警器等自动控制装置附近使用本产品。无线电波可能会导致电子设备发生故障而引发严重事故。
- 请勿拆开、改装或尝试修理本产品，以免发生触电、导致故障或引发火灾。
- 请勿使产品受到强烈冲击，以免发生触电、导致故障或引发火灾。
- 如果本产品出现故障、冒烟、异味、发热、余音或损坏迹象，请断开其与设备的连接。在这种情况下，请联系当地“铁三角”经销商。
- 请勿在产品中放置不相干的物质，如可燃材料、金属或液体。
- 请勿用布覆盖本产品，以免由于过热引发火灾或导致受伤。
- 如果在驾车时使用耳机，请遵守有关使用移动电话和耳机的适用法律。
- 请勿在因听不到声音而可能导致严重危险的环境下使用本产品(例如在铁路道口、火车站和建筑工地)。
- 本产品会有乐音遮蔽外部声音，因此您在佩戴本产品时可能会听不到周围的声音。当您享受时请调节音量到可以听到背景声音，并不断确认周围是否安全。
- 将本产品保存在干燥接触不到的地方。
- 为了防止听觉的听力，请勿将声音开得过高。长期听很大的声音可能会导致暂时或永久性的听力损伤。
- 如果因为直接与产品接触造成皮肤刺激，请勿继续使用。
- 如果您在使用本产品时感不适，请立即停止使用。
- 从您的耳中取下本产品时，请确保耳塞仍然连接在主机上。如果耳塞卡在耳中无法取出，请立即就医。
- 若身体因佩戴本产品而出现瘙痒，请停止使用。

充电盒注意事项

- 请勿拆开、改装或尝试修理本产品，以免发生触电、导致故障或引发火灾。

- 请用一根手指操作触摸式传感器。用尖头的物体 (例如圆珠笔或铅笔) 进行操作不仅会导致操作不正确,还可能损坏触摸式传感器。
- 不要用指尖触摸触摸式传感器,否则可能会导致指甲被弄碎。
- 如果触摸时本产品无法工作或未达到操作预期,请检查并确保其他手指、手部或衣服在触摸过程中未与本产品发生接触。此外,如果您戴着手表或指尖过于干燥,本产品可能也无法正常工作。
- 如果触摸式传感器被汗液弄脏,本产品可能无法正常工作。在操作本产品之前,请先将污垢擦拭干净。

■ 关于降噪功能

本产品设计为使用内置收音头来拾取周围环境的噪音 (来自车辆、空调的噪音等),并通过生成反相音的方式来消除噪音,这样就会减少来自环境的声音干扰。

- 本产品的降噪功能主要对低频率范围的噪音有效,但并不能消除所有有噪音。
- 取取决于噪音类型 (或位于安静的场所中),您可能不会留意到降噪效应。
- 使用降噪功能时可能听到轻微的嗡嗡声。这是降噪功能产生的声音,并非故障。
- 根据您佩戴本产品的方式,降噪效果可能有所不同或可能会发出嘟嘟声 (喇叭声)。在这种情况下,请下载本产品,再重新正确戴上。
- 为了能发挥耳机最大程度的降噪效果,请选择隔音效果最佳的耳套以隔绝外界声音,并正确佩戴耳机。
- 当您您在火车、公共汽车或卡车等车辆上使用本产品时,根据铁路/街道的情况可能会听到噪音。

■ 如果本产品未连接到设备

如果无法取消配对或配对不成功,可使用强制配对模式重新进行配对。

- 在两个耳机 (L (左)侧和 R (右)侧) 均放入充电盒里 (有剩余电池电量时)约 5秒后,触摸并按住两个耳机的触摸式传感器 (约4秒)。
- 当两个耳机上的指示灯亮起橙灯时,松开手指,将耳机从充电盒里取出来。
 - 本产品将切换到“搜索设备”(配对模式)状态,即可与所需蓝牙耳机设备进行配对。
- 如果无法如期完成这一步骤,请再次将耳机从充电盒里取出来,然后从头重复执行这一步骤。

■ 如果本产品运行异常

复位本产品。

- 在两个耳机 (L (左)侧和 R (右)侧) 均放入充电盒里 (有剩余电池电量时)约 5秒后,触摸并按住两个耳机的触摸式传感器 (约10秒)。
 - 在触摸并按住触摸式传感器时,指示灯会在约4秒后亮起橙灯,此时请勿松手。
- 当两个耳机的指示灯开始闪烁橙灯时,松开手指,将耳机从充电盒里取出来。
 - 复位完成。
- 将本产品从蓝牙耳机设备上的注册设备列表中删除,然后再次执行配对。
- 如果无法如期完成这一步骤,请再次将耳机从充电盒里取出来,然后从头重复执行这一步骤。

■ 防水性能

- 本产品具有防水性能,可避免操作期间和简单冲洗时渗入汗水 (相当于 IPX5)。JIS/IEC防护等级IPX5代表耳机受到保护,喷水对耳机没有影响。请勿在浴室等高温潮湿的地方使用耳机。
- 耳机并非完全防水。请勿故意使耳机浸水或在水中使用。另外,请勿使耳机接触汗水和水以外其他液体 (如肥皂水)。
- 本产品的防水规格仅适用于耳机。充电盒并不防水。
- 虽然耳机具有等同于 IPX5的防水性能,但声音播放零件并不防水。
- 如果耳机受潮,可能无法正常工作。用于干擦拭耳机,摇晃多次去除多余水分,然后让耳机彻底干燥后再使用。有关更多信息,请参阅“铁三角”网站上的用户手册。

■ 提供更舒适的蓝牙通信体验

本产品的有效通信范围根据障碍物和无线电波的状况而有所差异。如需获得最佳体验,使用本产品时请尽量靠近蓝牙设备。为尽量减少噪音和声音干扰,请避免将身体或其他障碍物放置在产品天线和蓝牙耳机之间。

繁體中文

感謝您購買本「鐵三角」產品。使用前，請務必詳閱本注意事項，確保以正確的方式使用本产品。請妥善保管本使用說明書以備日後參閱。

■ 安全上的注意事項

雖然本产品採用安全設計，但使用不當仍可能引起事故。為防範事故於未然，使用本产品時請務必遵守下項事。

耳機的注意事項

- 請勿於醫療設備附近使用本产品。無線電波可能會影響心電調節器和醫療電子設備。請勿於醫療設施內使用本产品。
- 於飛機上使用本产品時，請遵守航空公司的說明。
- 請勿於自動門和火災警報器等自動控制裝置附近使用本产品。無線電波可能會影響電子設備，導致電子設備故障而引起意外事故。
- 請勿拆解、改造或試圖修理本产品，以免發生觸電、導致故障或引發火災。
- 請勿使本产品受到強烈撞擊，以免發生觸電、導致故障或引發火災。
- 若本产品有發生故障、冒煙、異味、發熱、噪音或出現其他損壞跡象時，請停止使用本产品，並中斷與設備的連結。這種情況下，請聯繫當地的「鐵三角」經銷商。
- 請勿將例如易燃物、金屬、液體等異物混入本產品中。
- 請勿用布覆蓋本产品，以免因過熱而發生火災或受傷。
- 若於駕駛時使用耳機，請遵守手機和耳機使用的相關法律規定。
- 若於無法聽到周邊環境聲音時導致嚴重危險的地方使用本产品 (例如鐵路交叉口、火車站和建築工地)。
- 此產品可有效隔絕外界聲音，因此當您佩戴耳機時，可能無法清楚聽見周邊的聲音。請將音量調至可聽見周圍音量之大小，並在聆聽音樂時，持續確認周圍是否安全。
- 本产品請保管於兒童無法接觸到的場所。
- 為了防止損害您的聽力，請勿以過高音量使用。長期以過大音量聆聽，可能造成暫時或永久性的聽力損害。
- 若因與產品的直接接觸，造成皮膚出現過敏現象時，請勿繼續使用。
- 若於使用過程中感到不適，請立即停止使用本产品。
- 自耳取戴，請正確認耳塞仍與耳機裝置相連。若耳塞留在耳耳孔中無法取出，請立即就醫。
- 佩戴本产品時若皮膚有異樣感覺，請勿繼續使用。

充電盒的注意事項

- 請勿拆解、改造或試圖修理本产品，以免發生觸電、導致故障或引發火災。
- 請勿使本产品受到強烈撞擊，以免發生觸電、導致故障或引發火災。
- 請勿於手部潮濕的情形下接觸本产品，以免發生觸電或人身傷害。
- 若本产品有發生故障、冒煙、異味、發熱、噪音或出現其他損壞跡象時，請停止使用本产品，並中斷與設備的連結。這種情況下，請聯繫當地的「鐵三角」經銷商。
- 請勿使本产品淋濕，以免發生觸電或故障。
- 請勿將例如易燃物、金屬、液體等異物混入本產品中。
- 請勿用布覆蓋本产品，以免因過熱而發生火災或受傷。
- 如有水或異物侵入充電插孔或USB充電線，請勿為本产品充電。否則可能會造成充電插孔或USB充電線腐蝕、發熱、冒煙、起火，或發生其他故障或觸電。
- 如果USB充電線的端子彎曲、鬆動或損壞，請勿為電池充電。否則可能會導致發熱、冒煙、起火或觸電。
- 請務必使用隨附的USB充電線進行充電，以免造成產品損壞。
- 使用市售的USB變壓器或行動電源充電時，請使用輸出電流為 0.5A (500mA) 或更高的設備 (但是，請勿使用擁有快速充電功能 (電壓超過 5V以上) 之設備為本产品充電。否則可能會導致本产品無法充電或故障。
- 請勿將本产品放置於日照直射處、暖氣設備附近，高溫多濕或多塵的場所，因為此類放置方式可能會導致故障或取壞。
- 請勿使其靠近火源，因為這可能會導致變形或故障。
- 請勿使用酒精、汽油、油漆稀釋劑、接點清潔劑等，以免導致變色、變形或故障。

充電電池注意事項

- 本耳機與充電盒配備有一只充電電池 (鋰離子電池)。
- 電池液不慎滲入眼睛時，請勿搓揉眼睛。應立刻以清水 (自來水等) 充分沖洗，並儘速就醫診療。
- 電池液外漏時，請勿直接用手接觸液體。若液體殘留在產品內部，可能會導致故障。電池液外漏時，請聯繫當地的「鐵三角」經銷商。
- 若不慎誤食電池液，請立刻以清水 (自來水等) 充分漱口，並儘速就醫診療。
- 若電池液附著於皮膚或衣類，請立刻以清水沖洗。若皮膚感到任何不適，請儘速就醫診療。
- 為了避免洩漏、發熱或爆炸：
 - 一切勿加熱、拆解或改造電池，或丟棄至火中。
 - 請勿以釘子刺插，以鐵錘敲打或踩踏電池。
 - 請勿使本产品掉落或受到強烈撞擊。
 - 請勿使電池受潮。
- 請勿於以下場所使用、放置或儲存電池：
 - 日照直射、高溫多濕處
 - 烈日直射下的車內
 - 暖爐等熱源附近
- 請務必使用隨附USB線進行充電，以免導致故障或起火。
- 本產品的內建充電電池無法自行更換。若電池充滿電後，使用時間顯著變短，表示電池可能已經達到使用壽命。在此情況下，請將產品送修。有關修理的詳情，請聯繫您當地的「鐵三角」經銷商。
- 廢棄本产品時，需妥善處理內建的充電式電池。有關妥善廢棄電池的方法，請聯繫您當地的「鐵三角」經銷商。

■ 使用上的注意事項

- 使用前，請務必閱讀所連接設備的使用說明書。
- 使用本产品時，若發生連接裝置之儲存記憶消失等情形，本公司恕不負擔任何責任。
- 搭乘公共交通工具或處於其他公共場所時，請注意音量，避免造成他人困擾。連接本产品之前，請將欲連接設備之音量調至最低。
- 在乾燥環境中使用本产品時，耳朵可能會有刺痛感。這是由於積聚在人體上的靜電所造成的，並非產品故障。
- 請勿使本产品受到強烈撞擊。
- 請勿將本产品放置於日照直射處、暖氣設備附近，高溫多濕或多塵的場所。
- 本产品於使用一段時間後，有可能因為紫外線 (尤其是陽光直射)和磨損而發生變色情況。
- 若在本產品充電線仍連接於充電盒時置於袋中，可能會導致USB充電線纏住物品、斷裂或受損。
- 在插入或拔除USB充電線時，請務必握住插頭。若直接拉扯USB充電線，可能使得線材斷裂或發生意外。
- 不需使用USB充電線時，請從充電盒上拔除。
- 為耳機充電時，請先將充電盒的蓋蓋開再進行充電。
- 不使用本产品時，請將其存放於隨附之充電盒中。
- 如果使用非隨附或非鐵三角指定 (另售) 的耳塞，耳機可能無法放入充電盒或無法充電。請務必使用隨附或鐵三角指定 (另售) 的耳塞。
- 使用本产品時，請選擇最適合您的耳塞尺寸，以利確實佩戴本产品。
- 只有使用手機通訊網路時才能以本产品進行通話。不保證可支援使用行動數據網路的通訊應用程式。
- 如果在未與本产品連接的電子裝置或發射器 (例如行動電話)附近使用本产品，可能會出現雜音。在這種情況下，請將本产品遠離電子設備或發射器。
- 於收音機天線附近使用本产品時，可能會在收音機訊號中聽到嗡嗡訊。在這種情況下，請將本产品遠離收音機天線。
- 為保護內建的可充電電池，請每6個月至少進行一次充電。如果充電間隔時間太久，充電電池的壽命可能會縮短，或可能無法再為充電電池充電。
- 請於通風良好的地方 (10~35°C) 為本产品充電，避免日照直射。否則可能造成電池劣化、連續使用壽命縮短，或無法再為電池充電。

- 如果耳機潮濕，請以乾布擦拭之後再放入充電盒。本充電盒並不防水 (防滴) 。如果耳機潮濕，請勿為本产品充電。
- 本產品的明晰通話模式或外部聲音模式可讓您透過內建麥克風聽見外界聲音。收音音播放音量而異，可能無法聽見外界聲音而在這種情況下，請調低音樂音量。
- 視外界環境而異，即使使用本產品的明晰通話模式或外部聲音模式，仍可能聽不見遠處聲音。請勿在無法聽見外界聲音而可能發生危險的地方使用本产品，例如交通繁忙處。
- 請用一根手指操作觸控感應器。以尖頭物件 (例如圓珠筆或鉛筆) 操作不僅會導致故障不當，也可能會導致觸控感應器損壞。
- 勿以指尖觸碰觸控感應器。否則可能會導致手指甲斷裂。
- 若觸碰時本产品無法運作或未達到預期，請確保其他手指、手部或衣物在觸碰中未與本产品接觸。此外，您可能無法正常使用操作本产品。本产品可能無法正確運作。
- 若觸控感應器有汗水等污垢，本产品可能無法正常使用操作本产品之前，請先行將污垢擦拭乾淨。

警告
取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停止使用，並改善至無干擾時方得繼續使用。
上述合法通信，指依電信管理法規作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

■ 關於降噪功能

本产品設計為使用內建麥克風拾取周圍環境的噪訊 (來自車輛、空調的噪訊等),並透過產生負相位波長來消除噪訊,由此可減少來自環境的噪音。

- 本產品的降噪功能主要對低頻範圍內的噪音有效,並非所有噪音都會消除。
- 視噪訊類型而定 (或位於安靜場所之中),您可能不會留意到降噪效應。
- 使用降噪功能時可能會聽見輕微的嗡嗡聲。這是降噪功能產生的聲音,並非故障。
- 視產品佩戴方式而異,降噪效果可能不盡相同或可能發出尖銳聲音 (喇叭聲)。在這種情況下,請先取下本产品,再重新正確佩戴於耳朵上。
- 若要獲得最佳降噪效果,請選擇兩側隔音最好的耳塞以阻擋周圍環境的聲音,並且將耳機正確佩戴至耳塞。
- 於火車上或公車或卡車等車輛上使用時,視鐵路/路面狀況而異,會有聽見噪音的可能。

■ 如果本产品並未連接到設備

如果無法取消配對或配對不成功,您可以設定強制配對模式以再次執行配對。

- 將兩個耳機 (L (左)和 R (右)) 放入充電盒 (電池有剩餘電量)約 5秒後，觸碰並按住 (約4秒)兩個耳機的觸控感應器。
- 當兩個耳機上的指示燈亮起橙燈時，放開手指並從充電盒中取出耳機。
 - 本产品將切換至「搜尋設備」(配對模式)狀態,即可與所需藍牙設備進行配對。
- 如果無法按預期完成該程序，請再次從充電盒取出耳機並重新開始重複該程序。

■ 如果本产品運作異常

重置本产品。

- 將兩個耳機 (L (左)和 R (右)) 放入充電盒 (電池有剩餘電量)約 5秒後，觸碰並按住 (約10秒)兩個耳機的觸控感應器。
- 觸碰並按住觸控感應器時，指示燈會在大約4秒後亮起橙燈一次，此時請繼續按住觸控感應器。
- 當兩個耳機上的指示燈開始閃爍橙燈時，放開手指並從充電盒中取出耳機。
 - 重置完成。
- 在您的藍牙設備上，將本产品從已登錄的設備清單中移除，並且再次進行配對。
- 如果無法按預期完成該程序，請再次從充電盒取出耳機並重新開始重複該程序。

■ 防水性能

- 本產品的防水性能旨在避免使用期間和簡單沖洗時滲入汗水 (相當於 IPX5)。JIS/IEC防護等級IPX5代表耳機受到保護,不會因為被噴水而受到影響。請勿在浴室等高温潮湿的地方使用耳機。
- 本耳機並非完全防水。請勿故意將耳機浸入水中或在水下使用。此外,請勿使耳機接觸汗水和水以外的其他液體 (如肥皂水)。
- 本產品的防水與防塵規格僅適用於耳機,充電盒並不防水或防塵。
- 儘管本耳機具備相當於IPX5的防水性能,但發聲部分並不防水。
- 如果耳機潮濕,可能會無法正常工作。請以乾布擦拭耳機,甩乾耳機數次以排出多餘的水分,待耳機徹底乾燥之後再使用耳機。詳情請參閱鐵三角網站的使用說明書。

■ 打造更舒適愉悅的藍牙通訊體驗

視障礙物和無線電波條件而異，本產品的有效通訊範圍會產生變化。盡可能在藍牙設備周圍使用本产品，以獲得更悅悅的體驗。為降低噪訊和聲音中斷情形，勿使人體或其他障礙物介入本產品天線與藍牙設備之間，以免阻礙訊號。

한국어

Audio-Technica 제품을 구매해 주셔서 감사합니다. 본 제품을 올바르게 사용할 수 있도록, 제품 사용 전 본 주의사항을 꼭 읽으십시오. 나중에 참조할 수 있도록 이 설명서를 보관하십시오 .

■ 안전 주의사항

본 제품은 안전하게 사용하도록 설계되었지만 제대로 사용하지 않을 경우 사고가 발생할 수 있습니다. 안전을 위해 제품 사용 중에 모든 경고 및 주의 사항을 준수하십시오.

이전 제품에 대한 주의사항

- 의료 장비 주변에서 제품을 사용하지 않습니다. 무선 전자파가 심장박동기와 전자 의류 장치에 영향을 미칠 수 있습니다. 의료 시설 내에서 제품을 사용하지 않습니다.
- 항공기 안에서 제품을 사용할 경우에는 항공사 지침을 준수하십시오.
- 자동차 및 화재 경보기와 같은 자동 제어 장치 근처에서 제품을 사용하지 하도록 원인이 될 수 있습니다.
- 감전, 고장 또는 화재가 발생할 수 있으므로 제품을 분해하거나, 개조하거나, 수리하려고 시도하지 않습니다.
- 감전, 고장 또는 화재가 발생할 수 있으므로 제품에 강한 충격을 가하지 않습니다.
- 제품 고장으로 연기, 냄새, 열, 소음이 발생하거나 다른 손상 징후가 나타날 경우 장치에서 제품을 분리하십시오. 이러한 경우 가까운 Audio-Technica 판매점에 문의하십시오.
- 가연성 물질, 금속 또는 액체와 같은 이물질이 제품에 유입되지 않도록 주의하십시오.
- 과열될 경우 화재 또는 부상을 초래할 수 있으므로 제품을 천으로 덮지 않습니다.
- 운전 중에 이耳폰을 사용할 경우 휴대폰 및 이耳폰 사용에 대한 해당 법률을 따릅니다.
- 주변 음향을 들을 수 없어 심각한 위험을 유발할 수 있는 장소(철도 건널목, 기차역, 건설 현장 등)에서는 본 제품을 사용하지 않습니다.
- 본 제품은 외부 소리를 효과적으로 차단하므로, 제품을 착용하고 있는 동안 주변 소리를 신경쓰게 듣지 못할 수 있습니다. 주변 소리를 들을 수 있게 볼륨을 조절하고 음악을 들을 때 주변 상황을 살펴십시오.
- 제품은 아이들의 손이 닿지 않는 곳에 보관하십시오.
- 정적 손상을 방지하기 위해 볼륨을 너무 높이지 않습니다. 큰소리로 장시간 청취할 경우 청력이 일시적으로 는 영구적으로 손상될 수 있습니다.
- 제품이 피부에 닿아 피부 염증이 발생할 경우에는 사용을 중단하십시오.
- 제품을 사용하다가 몸이 불편한 느낌이 들면 즉시 사용을 중단하십시오.
- 제품을 귀에서 뺄 때는 본체에 이물질이 붙어 있는지 확인하십시오. 이물질이 귀 안에 박혀서 뺄 수 없을 경우에는 즉시 의사의 진료를 받으십시오.
- 제품 착용 후 가려운 증상이 생길 경우에는 사용을 중단하십시오.

충전 케이스에 대한 주의사항

- 감전, 고장 또는 화재가 발생할 수 있으므로 제품을 분해하거나, 개조하거나, 수리하려고 시도하지 않습니다.
- 감전, 고장 또는 화재가 발생할 수 있으므로 제품에 강한 충격을 가하지 않습니다.
- 감전 또는 부상을 초래할 수 있으므로 젖은 손으로 제품을 다루지 않습니다.
- 제품 고장으로 연기, 냄새, 열, 소음이 발생하거나 다른 손상 징후가 나타날 경우 장치에서 제품을 분리하십시오. 이러한 경우 가까운 Audio-Technica 판매점에 문의하십시오.
- 감전 또는 고장이 발생할 수 있으므로 제품이 젖지 않도록 주의하십시오.
- 가연성 물질, 금속 또는 액체와 같은 이물질이 제품에 유입되지 않도록 주의하십시오.
- 과열될 경우 화재 또는 부상을 초래할 수 있으므로 제품을 천으로 덮지 않습니다.
- 물이나 이물질이 배터리 케이스나 USB 충전 케이블 내부에 들어간 경우에는 제품을 충전하지 않습니다. 그 경우 배터리 케이스나 USB 충전 케이블 부위에 부식, 발열, 연기, 화재,기타 고장이나 감전이 발생할 수 있습니다.
- USB 충전 케이블의 단자가 구부러지거나 느슨하거나 손상되거나 손상된 경우 충전하지 않습니다. 열이 발생하거나 연기가 나거나 화재 또는 감전이 발생할 수 있습니다.
- 충전할 때는 함께 제공된 USB 충전 케이블을 사용해야 합니다.
- 제품을 위해 시중에서 판매되는 USB 전원 어댑터나 보조 배터리를 사용하는 경우 출력 전압가 0.5A (500mA) 이상인 장치를 사용하지 않습니다. 단, 고속 충전 기능(전압 5V 이상)이 있는 장치로는 충전하지 않습니다. 제품의 충전이 실패하거나 고장이 발생할 수 있습니다.
- 고장 또는 결함의 원인이 될 수 있으므로 직사광선 아래, 가열 장치 근처 또는 덜 습하거나 먼지가 많은 장소에 제품을 보관하지 않습니다.
- 변형 또는 고장의 원인이 될 수 있으므로 제품을 불 차에 두지 않습니다.
- 변색, 변형 또는 고장의 원인이 될 수 있으므로 알코올, 벤젠, 페인트 신나 및 전자 점접 클리너 등을 사용하지 않습니다.

충전지에 대한 주의사항

- 이耳폰과 충전 케이스에는 충전지(리튬 이온 배터리)가 내장되어 있습니다. 이물질이 눈에 들어간 경우 눈을 비비지 않습니다. 수돗물과 같은 깨끗한 물로 완전히 헹구고 즉시 의사의 진료를 받으십시오.
- 전지액이 누출된 경우 맨손으로 전지액을 만지지 않습니다. 전지액이 제품 안에 남아 있으면 고장의 원인이 될 수 있습니다. 전지액이 누출된 경우 가까운 Audio-Technica 판매점에 문의하십시오.
 - 전지액이 눈에 들어간 경우 수돗물과 같은 깨끗한 물로 입 안을 완전히 헹구고 즉시 의사의 진료를 받으십시오.
 - 피부나 옷에 전지액이 묻은 경우 즉시 해당 부위 또는 옷을 물로 씻으십시오. 피부 염증이 생길 경우 의사의 진료를 받으십시오.
- 누출, 열 발생 또는 폭발이 발생할 수 있으므로
 - 전지를 가열, 분해 또는 개조하거나 불 속에 폐기하지 않습니다.
 - 전지에 오물로 구멍을 뚫거나, 망치로 두드리거나, 밟지 않습니다.
 - 제품을 떨어뜨리거나 강한 충격을 주지 마십시오.
 - 전지가 젖지 않도록 주의하십시오.
- 다음 장소에서는 전지를 사용하거나 놓아 두거나 보관하지 않습니다.
 - 직사광선이나 높은 온도 및 습도에 노출된 영역
 - 폭발물 아래에 있는 자동차 안
 - 난방 장치와 같은 열원 근처
- 고장이나 화재가 발생할 수 있으므로 기본 제공된 USB 케이블로만 충전하십시오.
- 본 제품의 내부 충전지 전지는 사용자나 고체물 나 고체물 나 완전히 충전된 후에라도 전지의 사용 시간이 크게 줄어든 경우 전지의 사용 수명이 다 되었을 수 있습니다. 이 경우에는 전지를 수리해야 합니다. 전지 수리에 대한 자세한 내용은 가까운 Audio-Technica 판매점에 문의하십시오.
- 본 제품을 폐기할 때는 내장 충전지를 올바르게 폐기해야 합니다. 전지를 올바르게 폐기하는 방법은 가까운 Audio-Technica 판매점에 문의하십시오.

■ 사용 시 참고사항

- 사용하기 전에 연결된 장치의 사용 설명서를 읽으십시오.
- Audio-Technica는 드문 경우지만 본 제품을 사용하는 동안 발생한 데이터 손실에 대해 어떤 식으로든 책임을 지지 않습니다.
- 대중 교통 또는 기타 공공 장소에서는 다른 사람들에게 방해가 되지 않도록 볼륨을 낮게 유지하십시오.
- 제품을 연결하기 전에 장치의 볼륨을 최소화하십시오.
- 건조한 환경에서 제품을 사용할 경우 귀가 따갑거나 건조해질 수 있습니다. 이는 제품 자체가 아니라 체내에 축적된 정전기에 의한 것입니다.
- 제품에 강한 충격을 가하지 않습니다.
- 직사광선 아래, 가열 장치 근처 또는 습하고하거나 먼지가 많은 장소에 제품을 보관하지 않습니다.
- 제품을 장시간 사용할 경우 자외선(특히 직사광선)과 마모로 인해 제품이 변색될 수 있습니다.
- USB 충전 케이블이 연결된 상태에서 충전 케이스를 가방에 넣을 경우, USB 충전 케이블이 걸리거나 상어지거나 파손될 수 있습니다.
- USB 충전 케이블을 연결하고 분리할 때는 플러그를 잡고 연결 및 분리해야 합니다. 케이블 자체를 잡아당기면 USB 충전 케이블이 끊어지거나 사고가 발생할 수 있습니다.
- USB 충전 케이블을 사용하지 않을 때는 충전 케이스에서 분리하십시오.
- 이耳폰을 충전하지 않을 때는 충전지 전지에 충전 케이스의 커버를 닫아주십시오.
- 제품을 사용하지 않을 때는 동봉된 충전 케이스에 넣어서 보관하십시오.
- 기본 제공 또는 Audio-Technica에서 지정된 이耳핀(별도 판매)이 아닌 이耳핀을 사용할 경우 이耳폰이 충전 케이스에 맞지 않거나 충전되지 않을 수 있습니다. 기본 제공 또는 Audio-Technica에서 지정된 이耳핀(별도 판매)을 사용하십시오.
- 제품을 사용할 때 귀에 가장 잘 맞는 이耳핀을 선택하고 제품을 확실하게 착용합니다.
- 이耳폰은 휴대폰 네트워크를 사용할 경우에만 전화 통화를 사용할 수 있습니다. 모바일 데이터 네트워크를 사용하는 전화 통신 앱에 대한 지원은 보장되지 않습니다.
- 전자 장치 또는 송신기(휴대폰 등) 근처에서 제품을 사용할 경우 원하지 않는 소음이 들릴 수 있습니다. 이 경우 전자 장치 또는 송신기에서 제품을 멀리 떨어뜨려 놓으십시오.
- 라디오 안테나 근처에서 제품을 사용할 경우 라디오 신호에서 노이즈가 들릴 수 있습니다. 이러한 경우에는 라디오 안테나에서 제품을 멀리 떨어뜨려 놓으십시오.
- 내장 충전지를 보호하려면 최소한 6개월마다 한 번씩 충전하십시오. 너무 오랜 시간 동안 충전하지 않을 경우 충전지의 수명이 줄어들거나 충전지를 더 이상 충전하지 못 할 수 있습니다.
- 직사광선 아래, 가열 또는 통풍이 잘되는 장소(10~35°C)에서 제품을 충전하십시오. 그렇지 않으면 배터리 성능이 떨어져 연속 사용 시간이 짧아지거나 충전이 안 될 수도 있습니다.
- 이耳폰이 물에 젖은 경우, 충전 케이스에 넣기 전에 마른 천으로 닦아 주십시오. 충전 케이스는 내수형이 아닙니다. (방수형) 이耳폰이 젖은 경우에는 제품을 충전하지 않습니다.
- 제품의 토크 스크루드 마더 히어 스크루 마더를 사용하면 내장 마이크를 통해 사용자 주변의 소리를 들을 수 있습니다. 재생 중인 음악의 볼륨에 따라 주변 소리를 듣기 어려울 수 있습니다. 이러한 경우 음악 볼륨을 줄이십시오.
- 주위 환경에 따라 제품의 토크 스크루 마더나 히어 스크루 마더에서 두 번의 소리를 듣기 어려울 수 있습니다. 고동향이 많은 장소와 같이 주변 소리를 들을 수 없는 경우 위험한 장소에서 제품을 사용하지 마십시오.
- 현 손가락 또는 터치 센서를 조작하십시오. 볼륨이 언틸볼과 같이 굵이 부족한 물체로 조작하면 오작동이 발생할 뿐만 아니라 터치 센서가 손상될 수 있습니다.
- 손가락 끝으로 터치 센서를 조작하지 않습니다. 그렇지 않으면 손톱이 부러질 수 있습니다.
- 제품이 전혀 작동하지 않거나 터치했을 때 의도한 대로 작동하지 않으면 다른 손가락, 손의 일부 또는 옷이 터치될 때 닿지 않았는지 확인하십시오. 또한 장갑을 끼고 있거나 손가락 끝이 너무 건조하면 제품이 올바르게 작동하지 않을 수 있습니다.
- 터치 센서가 땅으로 더러워지면 제품이 올바르게 작동하지 않을 수 있습니다. 이물질들 제거한 후 제품을 작동시키십시오.

■ 노이즈 캔슬링 기능 활성화에 관한 정보

본 제품은 내장 마이크를 사용하여 주위 환경에서 들리는 소음(자동차 소리, 에어컨 소리 등)을 선별하고 역상으로 소리를 생성하여 소음을 제거하도록 설계되었습니다. 따라서, 사용자 환경에서 들리는 소리가 감소합니다.

- 제품의 노이즈 캔슬링 기능은 주로 낮은 주파수 범위의 소음 제거에 효과적이지만 모든 소음을 없앨 수는 없습니다.
- 소음 유형(또는 중요한 장소에 있는 경우)에 따라 노이즈 캔슬링 효과를 알아차리지 못할 수도 있습니다.
- 노이즈 캔슬링 기능 사용 시 살짝 윙윙거리는 소리가 들릴 수 있습니다. 이는 노이즈 캔슬링 기능으로 인해 발생하는 소 리역이 아닙니다.
- 이耳폰 장착 상태에 따라 노이즈 캔슬링 효과가 변동이 생기거나 전자음(하울링)이 발생할 가능성이 있습니다. 이러한 경우 제품을 빼냈다가 다시 올바르게 착용하십시오.
- 노이즈 캔슬링 효과를 극대화하려면 주변 소리를 차단할 수 있도록 이耳폰 양쪽에 각각 가장 방음이 잘되는 이耳핀을 선택 한 후 이耳폰을 귀에 딱박라 끼워 주십시오.
- 전철 또는 버스나 트럭 등의 차량 안에서 제품을 사용할 경우 선로 및 도로 상황에 따라 노이즈가 들릴 수 있습니다.

■ 제품이 장치에 연결되지 않는 경우

패어링이 취소되지 않거나 성공적으로 완료되지 않으면, 강제 페어링 모드를 사용하여 다시 페어링할 수 있습니다.

- 이耳폰 양쪽 (왼쪽과 오른쪽)을 모두 충전 케이스에 넣고(배터리 잔량이 있는 상태)약 5초 후 이耳폰 양쪽의 터치 센서를 길게 누릅니다. (약 4초간)
- 양쪽 이耳폰의 터치 램프가 모두 주황색으로 켜지면 손가락을 떼고 충전 케이스에서 이耳폰을 꺼냅니다.
 - 제품이 “장치 검색 중”(페어링 모드) 상태로 전환되면 원하는 Bluetooth 장치와 페어링할 수 있습니다.
- 예상대로 절차가 완료되지 않으면 다시 충전 케이스에서 이耳폰을 꺼낸 후 재 페어링하십시오.

■ 제품이 비정상적으로 작동하는 경우

제품을 리셋하십시오.

- 이耳폰 양쪽 (왼쪽과 오른쪽)을 모두 충전 케이스에 넣고(배터리 잔량이 있는 상태)약 5초 후 이耳폰 양쪽의 터치 센서를 길게 누릅니다. (약 10초간)
- 터치 센서를 누르고 있는 동안에는 약 4초 후 표시 램프가 주황황이 들어오면 터치 센서를 계속 누르고 있어야 합니다.
- 양쪽 이耳폰의 터치 램프가 모두 주황색으로 깜박이 시작하면 손가락을 떼고 충전케이스에서 이耳폰을 꺼냅니다.
- 리셋이 완료됩니다.
- Bluetooth 장치에 등록된 장치 목록에서 제품을 제거하고 다시 페어링합니다.
- 예상대로 절차가 완료되지 않으면 다시 충전 케이스에서 이耳폰을 꺼낸 후 재 페어링하십시오.

제한물질及其化學符號						
單元	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六價鉻 (Cr ⁶⁺)	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
外殼	○	○	○	○	○	○
電路板	—	○	○	○	○	○
配件	○	○	○	○	○	○
包裝材	○	○	○	○	○	○
備考1. “○”係指該項限制物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。						
備考2. “—”係指該項限制物質為排除項目。						

通信仕様/Communication specifications/ 通信规范/通訊規格/통신 사양	
最大RF出力/Maximum RF output/ 最大射頻輸出/最大無線射頻輸出功率/ 최대 RF 출력	12 mW EIRP
使用周波数帯域/Frequency band/ 頻帶/使用頻率範圍/주파수 대역	2.402 GHz - 2.480 GHz
変調方式/Modulation type/ 调制类型/調頻類型/변조 타입	GFSK, Pi/4DQPSK, 8DPSK
頻率範圍	2400 - 2483.5 MHz (SRRC指値値)

ATH-SQ1TW2NC-L



001-A19676

ATH-SQ1TW2NC-R



001-A19675

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

Audio-Technica Corporation
2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com
©2026 Audio-Technica Corporation
Global Support Contact: www.at-globalsupport.com

■ 방송 성능

- 제품의 방송 성능은 작동 중 및 간단한 물 세척 중에 땅으로 인한 액체 유입을 방지하도록 설계되었습니다(IPX5 등급). JIS/IEC 보호 등급 IPX5는 이耳폰이 분사되는 물로부터 보호된다는 것을 의미합니다. 이耳폰은 욕실과 같이 접근 가능한 곳에서 사용할 수 없습니다.
- 이耳폰은 완전 방수가 아닙니다. 이耳폰을 물에 일부라도 닿거나 물속에서 사용하지 않습니다. 또한 이耳폰을 땅 및 물 이외의 액체(비누 등)에 노출시키지 않습니다.
- 본 제품의 방송 사양은 이耳폰에만 적용됩니다. 충전 케이스는 방수되지 않습니다.
- 이耳폰에는 IPX5에 해당하는 방송 성능이 적용되어 있지만 소리가 나오는 부분은 방수되지 않습니다.
- 본 이耳폰은 물에 젖으면 제대로 작동하지 않을 수 있습니다. 마른 천으로 이耳폰을 닦고 마른 털어낸 후에는 물기를 완전히 제거하여 사용 전에 이耳폰이 완전히 마를 때까지 계속 건조하십시오. 더 많은 정보가 필요할 경우 Audio-Technica 웹사이트의 사용 설명서를 참고해 주십시오.

■ Bluetooth 통신을 더욱 쾌적하게 이용하기 위해

본 제품의 유효 통신 범위는 장애물 및 전자 상태에 따라 변동됩니다. 본 제품을 쾌적하게 이용하기 위해 본 제품과 Bluetooth 장치를 최대한 가까이에서 두고 사용하지 않습니다. 본 제품의 인터페이스 Bluetooth 장치 사이에 인제나 기타 장애물이 없으면 노이즈와 소리 감정을 최소화할 수 있습니다.

한국 소비자용 공지사항

해당 무선설비는 전화통신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

R-R-JMF-SQ1TW2 기기의 명칭: Wireless Headphones 모델명: ATH-SQ1TW2NC 상호명: Audio-Technica Corporation 제조자: Audio-Technica Corporation 제조국: CHINA 국내대리인: Seki At 127 SOPA-RO, JUNG-GU, SEOUL 04629, KOREA Tel: +82-2-3789-9801 Fax: +82-2-3789-9802 service@sekiat.co.kr

XU103275-25002 제품명: 전지 모델명: RI055-L 형식명: 1ICR11-6 공칭 전압: 3.8Vdc 정격 용량: 45mAh 제조자: Audio-Technica Haining Co.,Ltd 신고인: Audio-Technica Haining Co.,Ltd 제조국: CHINA 국내대리인: Seki At 127 SOPA-RO, JUNG-GU, SEOUL 04629, KOREA Tel: +82-2-3789-9801 Fax: +82-2-3789-9802 service@sekiat.co.kr

사용상 주의사항